

宇宙全般の祈りは、明らかにある絶対なる神を指し示す。

魂の世界へ、潜在の世界へ通い、精霊や天使と対話する方々の証明でもって確定されたすべての精霊や天使の完全な服従と隷属及びすべての生命物の完璧な秩序で義務を果たしていくことが、真に祈るべきアッラーの存在の必然性と唯一性を指し示すように、それぞれが集中の力を持つすべての識者の真の智識や、すべての感謝する者の成果を生む感謝やすべての唱える者の教えに富んだ唱えや、賞賛する者の財産を増やす賞賛や、唯一性を信じる者のそれを証明する信仰や、その表現やすべての愛する者の真の愛や恋やすべての志す者の誠実な意志や、すべての求める者の真実な要望や要求は、またマールフ(有名)・メズキュール(既に述べられている)・メシュキュール(感謝されている)・マフムード(賞賛されている)・ワーヒド(唯一無二)・マフブーブ(愛されている)・メルグーブ(求められている)・マクスード(望まれている)である彼の太古より礼拝される者の存在の必然性と神性の完全性とその唯一性を指し示すように、成熟した人間のすべての認められた礼拝とその認められた礼拝の結果からなる精神的な富裕と神秘の対話と心的観察とその発見がまた彼の無限の存在と彼の終りなく礼拝される者の存在の必然性とその唯一性と神性の完全性を指し示す。

それは、この三つの面で明るく大きな窓である唯一性へと開かれる。

Said Nursi

33 番目の言葉

Said Nursi

リサレイ・ヌール 収集より



33 番目の言葉

著書

ベディウツァマン

サイド・ヌルシー



Inlas Nur Nesriyat



リサレイ・ヌール 収集より

33 番目の言葉

著書

ベディウツザマン

サイド ヌルシー

月
三
三

33 Pencere
Japonca Tercümesi

Neşreden:

İHLÂS NUR NEŞRİYAT

Sanayi Ticaret Ltd. Şti.

Sanayi Cad. Sanayi Han A-Blok

No: 23/69 Ulus – ANKARA

Tel: +90(312) 324 27 09 Faks: +90(312) 309 13 05

Web: www.nur.web.tr

e-mail: nur@nur.web.tr

ISBN 978-975-8785-83-4

Ankara – 2008

© İHLAS NUR NEŞRİYAT

33 番目の言葉

それは33 番目の手紙であり、同時に33 番目の言葉である

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

﴿سُرِّيهِمْ آيَاتِنَا فِي الْأَفَاقِ وَفِي أَنْفُسِهِمْ حَتَّىٰ يَتَبَيَّنَ لَهُمْ

أَنَّهُ الْحَقُّ أَوْلَمَ يَكْفُ بِرَبِّكَ أَنَّهُ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ شَهِيدٌ﴾

慈悲あまなく 慈愛深きアッラーの御名おいて

われは、わが印が真理であることが、かれらに明白になるまで、（遠い）空の彼方において、またかれら自身の中において（示す）。本当にあなた

がたの主は、^{すべ}凡

てのことの立証であられる。そのことだけでも十分ではないか。（コーラン41:53）

質問

上記の二つの節が表現する神の唯一性と必然性とその状況や形容について、最小の世界である人間と最大の世界である宇宙が証明しているという理由を端的にかつ短く述べていただきたい。否定する者はあまりにも行き過ぎたからである。「いったいいつまで

﴿وَهُوَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ﴾

「本当に彼は凡てのことに全能であられる(コーラン67:1)」と言って手をあげるのか」と彼らは言っている。

答え:

書き記された33の言葉はこれらの節の海から、真の富を受ける大海からの33の雫である。それらを見れば、答えが得られることであろう。今は、ただあの海の一滴の発生を指し示すために申し上げよう。

例えば、ある奇跡的な方が大きな宮殿を建造しようと思いつつすれば、まず彼は聡明にもその基礎を用意し、その先の結果や目的に見合った形で秩序付ける。そして、それぞれの空間に区別し、区分する。そして様々な模様で飾り付ける。そして電気ランプの灯りで照明する。それから、その靨青しく美しい宮殿で自らの能力や権力を開花させるために、それぞれの層において新たな発明や変革を施す。そして、各空間には自分の場所に接続された電話をそれぞれ設け、各部屋の窓を開いて、それらの空間から彼の場所が見えるようにした。

そのように、

﴿وَلِلَّهِ الْمَثَلُ الْأَعْلَى﴾

最高の象徴はアッラーに属する。(コーラン16:60)偉大なる創造主・聡明な中でも最も聡明な御方。公正な審判のように千一の聖なる名で名付けられた無類の創造主がこの最大の世界である宇宙宮殿と創造の系譜の発生を求められた。六日間、その宮殿と、その系譜の基礎(基本)を、神秘的規則や絶対なる学問の法則で命じられた。それから、天地の階層を分け、枝を分け、運命の法則で詳細に描写された。それから、すべての被造物のあらゆる種類及びそれぞれの階層を創造と労苦の法則で秩序付けられた。それから、すべてを、すべての世界を

、それに見合う形で、例えば天空を星で、大地を花で裝飾されたように、飾り付けられた。それから、その全体の規則及び一般の法則の大広場でそれぞれの名を発生させられ、発光させられた。それから、この全体の規則の圧力で悲鳴をあげる個

に対して、慈愛深^{みな} 慈悲あまねく、御名を特別な形で助けとして贈られた。ということは、彼の全体的且つ一般的な法則の中で特別な贈り物があり、特別な助けがあり、特別な振る舞いがあり、すべてが、いつも、すべての必要のために彼の助けを乞い、彼を見るのである。

それから、すべての空間において、すべての階層において、すべての種において、すべての個において、あらゆるすべてにおいて御自身を指し示す、つまり、彼の存在及び唯一性を指し示す窓を開いている。すべての心の中に一台の電話を置いておられる。今は、この無限の窓のことに憐れみも言及するつもりはない。それを神学の学者にお任せして、ただ聖なるクルアーンの節の輝きである三十三の窓を、三十三番目の言葉の三十三番目の手紙の、礼拝の後の唱えの三十三の神祕の数に辿り着くために三十三の窓に端的に且つ短く言及し、その説明を言葉に求めることにする。

1番目の言葉

観察すれば見えるが、すべての事物は、中でも特に生命を有するものは、多種多様な多くの必要と要求を持っている。それらの要求や必要は、彼らの思いよらない、知らない、手の届かないところから、しかも適切で相応な時に彼らに与えられている。あの無限の要望のうちの最小のものにさえ、それを必要としている者どもは力が及ばない、手が届かない。あなたは自分

自身を見よ：あなたの顕在・潜在諸々の感青やその要求のように手の届かないたくさんのもを、あなたは必要としている。すべての生命(生物)を自分自身と比較せよ。

それらすべてはそれぞれ一つ一つが彼の存在の必然を証明し、その唯一性を指し示し、またそれらの全体でもって、太陽の光が太陽を示すように、—その状況が—神秘の幕の裏の必然的な存在を、あの唯一の存在を、ケリーム(偉大)・ラーヒム(慈悲深い)・ミュレツビー(教育者)・ミュデツビール(思慮深い)との名でもって理性に指し示す。

では、無知の否定する者よ、迷える罪人よ！この支離的且つ
予見的で慈悲深い活動を何で説明されるのか？^{ろうあ}、^{聾啞}
の自然か？盲目の力か？無方向の偶然で説明されるのか？無力
で無機の原因で説明されるのか？

2番目の言葉

身体や人格において物質は、終わりのない可能性の道で躊躇し、驚嘆し、無形の状態であるのに、突然非常に整然とした秩序のある人格の顔を与えられている。例えば、それぞれの人間の顔は、すべての同類のそれぞれに対する、一つの差異の兆候がその小さな顔にあり、それから顕在・潜在諸々の感青を完璧な

えいち
叡智

により与えられている。このことはその顔が、(アッラーの)唯一性の輝き金貨であることを証明する。それぞれの顔は、百もの面で聡明な創造主の存在を証明し、その唯一性を指し示すと同時に、すべての顔の全体で現出するその金貨は、すべての物が創造主の顔であることを理性の目に指し示す。

おお、否定者よ！いかなる方法でも模倣できないこれらの金貨を、そしてその全体からなる(アッラーの)必然性の輝き金貨を、あなたは、どの工場に頼むことができようか？

3番目の言葉

地上において、四十万種類からなるすべての動物類や植物類の大群は、観察すれば、それぞれ違った必需品や様目や武器や服装や指令や解構が、秩序正しく、何事も忘れられることなく、何事も行き違なく行われ、その運営や育成が疑いなく太陽のように輝き(アッラーの)唯一性の金貨である。無限の力と広大な学習と終わりのない神秘を持ち合わせた者以外に誰もこの無限に素晴らしい営みに関与できない。この互いに交わる種や民の全体を運営・育成できない者が何か一つでも関与したら、もろん混濁を招くのみである。ところが、

﴿فَارْجِعِ الْبَصَرَ هَلْ تَرَى مِنْ فُطُورٍ﴾

‘少しの不調和もないことを見るであろう。(コーラン67:3)’の神秘に基づいて、何一つそのような混乱した現象はないのである。すなわち、誰の指も関与できないのである。

その種類の一部の一年での構成員の数はアダムから終焉の日までの人類の総数を越える。

4番目の言葉

潜在能力の言語ですべての植物の種子が、本能の言語ですべての動物が、必要の言語ですべての必要とする者たちが行う祈りの承認である。この限りない祈りの承認のそれぞれが必然性及び唯一性を証明し、指し示していると同時に、その全体が明らかに必要を充たす偉大な慈悲深い創造主を証明し、指し示す。

5番目の言葉

物は、中でも特に生命を有する物は、突然瞬時に生まれるのを私たちは目にする。ところが、突然瞬時に単純な物質から現出するものは、単純で曖昧で創造性のないものであるべきなのに、多くの才能を要する美術とたくさんの時間を要する丁寧な細工を施され、たくさんの道具を要する優れた技で飾られ、たくさんの物質を要する形を起しているのである。

まさに、この突然で瞬時のこの素晴らしい美術や美しい集結は、それぞれが、ある聡明な創造主の必然性を証明し、その唯一性を指し示すと同時に、その全体が、非常に輝く形で無限の権力者且つ終わりのない聡明である存在の必然性を指し示す。

では、道を誤った否定者よ！これをどう説明しようというのか？あなたのように間違っていて、無力で、無知の自然によってなのか？それとも、限りなく誤って、彼の聖なる創造主を「自然」と命名して、彼の力の奇跡をその命名を理由に自然に要求し、千倍もの不可能を同時に希望しようというのか？

6番目の言葉

﴿إِنَّ فِي خَلْقِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَاخْتِلَافِ اللَّيْلِ وَالنَّهَارِ
وَالْفُلْكِ الَّتِي تَجْرِي فِي الْبَحْرِ بِمَا يَنْفَع النَّاسَ وَمَا أَنْزَلَ اللَّهُ
مِنَ السَّمَاءِ مِنْ مَّاءٍ فَأَحْيَا بِهِ الْأَرْضَ بَعْدَ مَوْتِهَا وَبَثَّ فِيهَا مِنْ
كُلِّ دَابَّةٍ وَتَصْرِيفِ الرِّيَّاحِ وَالسَّحَابِ الْمُسَخَّرِ بَيْنَ السَّمَاءِ
وَالْأَرْضِ آيَاتٍ لِقَوْمٍ يَعْقِلُونَ﴾

本当に天と地の創造、昼夜の交替、人を益するものを運んで海原をゆく船の中に、またアッラーが天から降らせて死んだ大地を甦らせ、生きとし生けるものを地上に広く散らばせる雨の中に、また風向きの変換、果ては天地の間にあって奉仕する雲の中に、理解ある者への（アッラーの）印がある。（コーラン2:164）

この節は、必然性と唯一性を指し示すと同時に、一つの偉大な名を指し示す大いなる窓である。この節の要約の要約は次のようである：

宇宙の天地のすべての世界は、別々の言語で同一の結果を、つまり、唯一の聡明な創造主の存在を指し示している。すなわち：

天空における一天文学の告白にも見受けられるように一大いなる結果のために非常に整然とした運動が、ある偉大な権力者の存在と唯一性及びその神性の完全性を指し示すように、大地における—地理学の証明と承認にも見受けられるように—大いなる成果のために季節のような非常に整然とした変化が、

同じ偉大な権力者の必然性と唯一性とその神性の完全性を指し示す。

陸にも海にも完全な慈悲でそれぞれ相応の取り分を与えられ、完全な聡明性でいろいろな形で装われ、完全な神性で様々な感情で装備されたすべての動物類は、また、それぞれ彼の偉大な権力者の存在を証明し、その唯一性を指し示すと同時に、その全体でもって、その神性の強大さとその神性の完全性を指し示す。同様に、畑の整然とした植物類や樹木類の見せる飾り花や花が見せる果物や果物の見せるデリケートな模様は、それぞれがまた彼の聡明な創造主の存在を証明し、唯一性を指し示すと同時に、その全体でもって華やかにも慈悲の美しさと神性の完全性を指し示す。

青空の雲から貴重な叡智と目的と必要な成果のために義務付けられ、派遣された雲は、その数の分、また彼の聡明な創造主の必然性と唯一性及びその神性の完全性を指し示す。そのように、地上の山や山の中の鉱物の、それぞれの特長とともに、それぞれ別々の用途のための生成及び蓄積が、山らしい静寂の力でまた彼の聡明な創造主の必然性と唯一性と神性の完全性を指し示す。

砂漠や山にある小さな丘が様々な整然とした花々を飾ることは、それぞれがある聡明な創造主の必然性を証明し、唯一性を指し示すと同時に、その全体でもって、その権力の偉大さと神性の完全性を指し示す。そのように、すべての草木のすべての葉の様々な整然とした形とそれぞれ別々の状態と魅力的で調和のとれた動きが、その葉の数だけ、また彼の聡明な創造主の存在の必然性と唯一性及びその神性の完全性を指し示す。

育つものはその大きくなる時に整然とした運動や様々な道具での装備や様々な果物でのまるで意識しているかのような感謝でそれぞれ個別にまた彼の聡明な創造主の存在の必然性を証明

し、その必然性を指し示し、また全体でもって、その権威の包圍力とその聡明性の包容力とその創造の美しさとその神性の完全性を指し示す。そのように、すべての動物の身体に対して、完全な叡智でもって、その自我を与えられ、その魂を込められ、様々な器官で整然として武装され、様々な用途のために派遣されていることが、動物類の数だけ、さらにその器官の数だけ、また彼の聡明な創造主の存在の必然性とその唯一性を証明し、指し示すように、その全体でもって、煌びやかにその慈悲の美しさと神性の完全性を指し示す。

すべての心に、人間であればあらゆる学問や心理を伝え、動物であればあらゆる必要の調達方法を教えるすべての神祕の靈感がある慈悲深い主の存在を感じさせ、その神性を指し示す。そのように、瞳のためにこの宇宙の畑から精神の花を摘む眼の光線のように顕在・潜在のすべての感情がそれぞれ別々の世界の鍵であることは、また彼の聡明な創造主の、彼の知者なる創造主の、彼の慈悲深い創造主の、彼の偉大なる創造主の存在の必然性とその唯一性及び神性の完全性を太陽のように指し示す。

見よ、上記の十二のそれぞれの窓から、十二の面から偉大な窓が開かれ、十二色の真理の光でアッラーの唯一性と単独性及びその神性の完全性を指し示す。

見よ、おお、悪運の否定者よ！この地球ほど広大なこの窓を何でもって閉じようというのか？そして、太陽のように輝くこの光の鉱物を何でもって消せるというのか？そして、どの強欲の幕で覆えるというのか？

7番目の言葉

この宇宙に散りばめられた被造物の完全なる秩序と完全なる均衡と完全なる装飾とその性質の柔軟性と互いの類似性と同一の性質を現すということが、ある聡明な創造主の存在の必然性とその権力の完璧性及びその唯一性を指し示す。同様に、あの無機質で単純な要素から無数の異なる秩序だった複合物の生成は、それらの複合物の数だけ、ここでも彼の聡明な創造主の存在の必然性を証明し、その唯一性を指し示すと同時に、それら全体でもまた、非常に輝く形で、彼の唯一性を指し示すように、存在の統合と言われる統合と分解との段階による新化において、極限までの混交の中で極限までの識別と分化でもって、例えば地中の種や根が非常に混雑しているにもかかわらず全く間違えることなく、一様に花咲き、本体を分け、中に取り入れる複雑な物質を葉や花や果物に分けてゆき、身体の細胞に混雑した形で入っていく栄養物質を完璧な神秘と完全な秩序で分けて区別していくことは、また彼の絶対なる聡明な者の、彼の絶対なる知者の、彼の絶対なる権力者の存在の必然性とその権力の完璧性及びその唯一性を指し示すように、あの粒子の世界を無限且つ広大な畑のようになし、毎分完璧な神秘で耕し、栽培し、新たな宇宙の成果を得、あの無機で、無力で無知である粒子たちに非常に意識的で、聡明で、強力な

無限の整然とした義務を果たさせることは、また彼の偉大な権力者の、彼の完全な創造主の存在の必然性とその権力の完璧性及び神性の偉大さとその唯一性及びその神性の完全性を指し示す。

見よ、この四つの道によって大きな窓がアツラーを知ることに開かれ、ある聡明な創造主を理性に指し示す。では、不運の否定者よ！それでも、彼の方を見て知ろうと望まないのならば、理性を捨て去れ、動物になって、救われよ！

8番目の言葉

人類の光を放つ魂を有するすべての預言者たちは鮮明な奇跡に基づいて、そして明るい精神を持つすべての聖人たちは予見と超自然に頼んで、そして光る理性を営むすべての学者たちは研究に基づいて、唯一の唯一性の、必然なる存在の、万物の創造者の存在の必然性とその唯一性及び神性の完全性を証明していることが、非常に大きくて輝く窓であり、いつも彼の神の主を指し示しているのである。

ああ、無力の否定者よ！誰に頼んで、彼らを信じないのか？あるいは、あなたは、自分が目を閉じたからといって、世界が灰になったとも思っているのか？

9番目の言葉

宇宙全般の祈りは、明らかにある絶対なる神を指し示す。

魂の世界へ、潜在の世界へ通い、精霊や天使と対話する方々の証明をもって確定されたすべての精霊や天使の完全な服従と隷属及びすべての生命物の完璧な秩序で義務を果たしていくことが、真に祈るべきアッラーの存在の必然性と唯一性を指し示すように、それぞれが集中の力を持つすべての識者の真の智識や、すべての感謝する者の成果を生む感謝やすべての唱える者の教えに富んだ唱えや、賞賛する者の財産を増やす賞賛や、唯一性を信じる者のそれを証明する信仰や、その表現やすべての愛する者の真の愛や恋やすべての志す者の誠実な意志や、すべての求める者の真剣な要望や要求は、またマールフ（有名）・メズキュール（既に述べられている）・メシュキュール（感謝されている）・マフムード（賞賛されている）・ワーヒド（唯一無二）・マフブーブ（愛されている）・メルグーブ（求められている）・マクスード（望まれている）である彼の太古より礼拝される者の存在の必然性と神性の完全性とその唯一性を指し示すように、成熟した人間のすべての認められた礼拝とその認められた礼拝の結果からなる精神豊かな富裕と神祕の対話と心的観察とその発見がまた彼の無限の存在と彼の終わりなく礼拝される者の存在の必然性とその唯一性と神性の完全性を指し示す。

それは、この三つの面で明るく大きな窓である唯一性へと開かれる。

10番目の言葉

﴿وَأَنْزَلَ مِنَ السَّمَاءِ مَاءً فَأَخْرَجَ بِهِ مِنَ الثَّمَرَاتِ رِزْقًا لَكُمْ وَسَخَّرَ

لَكُمْ الْفَلَكَ لِتَجْرِيَ فِي الْبَحْرِ بِأَمْرِهِ وَسَخَّرَ لَكُمْ الْأَنْهَارَ

﴿وَسَخَّرَ لَكُمْ الشَّمْسَ وَالْقَمَرَ دَائِبَيْنِ وَسَخَّرَ لَكُمْ اللَّيْلَ وَالنَّهَارَ

﴿وَأَتَيْكُمْ مِنْ كُلِّ مَا سَأَلْتُمُوهُ وَإِنْ تَعُدُّوا نِعْمَتَ اللَّهِ لَا تَحْصُوهَا﴾

アッラーこそは、天と地を創造され、天から雨を降らせ、これによって果実を実らせられ、あなたがたのために御恵みになられる方である。また船をあなたがたに操縦させ、かれの命令によって海上を航行させられる。また川をあなたがたの用に服させられる。またかれは、太陽と月をあなたがたに役立たせ、両者は飽きることなく（軌道）を廻り、また夜と昼をあなたがたの用に役立たせられる。またかれはあなたがたが求める、凡てのものを授けられる。仮令アッラーの恩恵を数えあげても、あなたがたはそれを数えられないであろう。人間は、本当に不義であり、忘恩の徒である。（コーラン14:32-34）

この宇宙の全存在の互いへの助け合い・語り合い・支え合いが指し示すように、すべての被造物は同一の教育者の教育の下にあり、同一の管理者の管理の下にあり、同一の運営者の運営の下にあり、同一の主の僕である。そのように、地上の生命物の生命維持のための諸必要を主の命令で成し遂げる太陽や暦を保つ月をはじめ、光や空気や水や栄養が生命物を助けに行くことと植物が動物を助けに行くことや動物が人間を助けに行くこ

とにいたるまで、さらに身体の器官が互いを助け合うこと、さらにまた栄養分子が身体細胞を助けに行くことまでを含む助け合いの原則のもとでの無機且つ無意識の助け合う物質のある大いなる規則、ある愛情豊かな規定、ある慈悲深い基準のもとでの聡明なる助け合いや充たし合いや補乱し合いも、むしろ、それらは明らかに同一且つ唯一の絶対なる権力者・絶対なる知者・絶対なる慈悲深い方・絶対なる偉大な方・必然唯一の方のしもべ

僕であり、被造物であることを指し示す。

おお、無力の破産者の哲学者よ！この偉大な窓をどう解釈するのか？あなたのいう偶然はこれに介入できるのか？

11番目の言葉

﴿الْأَبْدَانُ لِلَّهِ تَطْمِئِنُّ الْقُلُوبُ﴾

アッラーを唱念することにより、心の安らぎが得られないはずがないのである。（コーラン13:28）

すべての魂や心の過ちによって起こる苦痛と混乱及び苦痛から起こる精神的な苦難から救われることは、唯一の創造主を認めることによるのみ可能である。全存在を唯一の創造主に求めることで解放を得、唯一のアッラーを唱えることで安心を得る。無限の存在が唯一の方に求められなければ、二十二番目の言葉で証明されているように、そのときはそれぞれのすべての事物を無限の原因に基づかせなければならなくなるが、そうなると一つだけの物の存在も全存在ほど困難になる。

アッラーに求めれば、無数の物を一人だけの方に求めることになる。彼に求めなければ、それぞれ一つ一つの物を無数無限

の諸原因に求めなければならない。そうすると、一個の果物は宇宙ほど困難になる、場合によってはより困難になる。一人の兵士が百人の管理下に置かれれば百の困難が生じるように。そして、百人の兵士が一人の軍人の管理下に置かれれば、まるで一人かのように容易である。そのように、たくさんの種類の原因が一つの物を創るための複合はとても困難である。そして、たくさんの物の製造が一人の方に任せられれば、それはとても容易である。

人間の性質にある好奇心と真理の追究による無限の苦痛から解放するのは創造主の唯一性とアッラーについての知識である。否定にも、複数性にも無限の困難と苦痛がある。であればこそ、むしろ、その道は不可能であり真理に反する。唯一性には、被造物の創造における容易さと多数性と美しさに見合った、無限の容易性がある。であればこそ、むしろ、この道は必然的であり、真理である。

ああ、不運の否定する者よ！見よ、否定の道はどんなに暗く、どんなに苦難に満ちているか！どうしてまた、あえて、そこへ突き進むのか？見よ、信仰と唯一性の道はどんなに容易で楽しいか！その道を行き、解放されなさい。

12番目の言葉

﴿سَبِّحْ اسْمَ رَبِّكَ الْأَعْلَى الَّذِي خَلَقَ فَسَوَّى وَالَّذِي قَدَّرَ فَهَدَى﴾

至高の御方、あなたの主の御名を讃えなさい。かれは創造し、整え調和させる御方、またかれは、法を定めて導き、（コーラン87:1-3）

の神秘に基づいて、すべての物において、特に生命を有する被造物において、聡明な型から出たかのように、それぞれ整然とした分量と形が、神秘によって与えられ、その形やその分量で諸々の目的や諸々の便宜のために曲りくねった境界があることが、それから、生命のある間に変化していく形や分量がまた様々な目的や必要を果たすように、生命の運命から成立する精神的且つ整然とした形と分量が存在することが、明らかに指し示すが、偉大なる権力者・完全な識者の運命の工場で形が整えられ、権力の工程で身体を与えられた無数の被造物は、彼の方の存在の必然性を証明し、その唯一性及び権力の完全性を無限の言語で証明する。

あなたは、自らの物体や器官やその曲りくねったところの成果や機能を見なさい、完全な神秘の中の権力の完全性を見なさい。

13番目の言葉

﴿وَأَنْ مِنْ شَيْءٍ إِلَّا يُسَبِّحُ بِحَمْدِهِ﴾

何もかも、かれを讃えて唱念しないものはない。
。(コーラン17:44)

の神秘に基づいて、すべてがそれぞれ特有の言語で創造主を唱え、賞賛する。そう、すべての存在のそのままの言語での唱えは、唯一の聖なる方の存在を指し示している。

そう、生来の性質の証明は拒否できない。特に在りのままの状況による証明であれば疑いの余地はない。見よ、無限の性質の証明を内包し、無限の形で状況の言語で証明し、同心円のように同一の中心を眺めるこの存在の整然とした形は、それぞれ一つ一つの言語であり、そしてその調練した全体は、それぞれ一つ一つの証明の言語であり、そしてその完璧な生命は、それぞ

れ一つ一つ唱えの言語であり、二十四番目の言葉で証明されているように、そのすべての言語による明らかな唱えや祈りや唯一の聖なる方に関するその証明は、光が太陽を指し示すがごとく、ある存在の必然なる方を指し示し、その神性の完全性を証明する。

14番目の言葉

﴿قُلْ مَنْ يَبْدَهُ مَلَكُوتُ كُلِّ شَيْءٍ ﴿١﴾ وَأَنْ مِنْ شَيْءٍ إِلَّا عِنْدَنَا

خَزَائِنُهُ مَا مِنْ دَابَّةٍ إِلَّا هُوَ آخِذٌ بِنَاصِيَتِهَا ﴿٢﴾ إِنَّ رَبِّي عَلَيَّ

كُلِّ شَيْءٍ حَفِيفٌ ﴿٣﴾﴾

凡ての事物の統御は、誰の手にあるのか。(万有を)守護し、(誰からも)守護されない方(は誰か)、あなたがたが知っているならば、(言ってみなさい)(コーラン23:88)

どのようなものでも、われにその(無尽の)蓄えのないものはない。(必要に応じた)一定の分量以外には下さないだけである。(コーラン15:21)

わたしの主であり、あなたがたの主であられるアッラーを、わたしは信頼する。凡ての生きもの

の一つでも、アッラーが、その前髪を^{つか}掴まれぬものはない。本当にわたしの主は、正しい道の上におられる。(コーラン11:56)

仮令あなたがたが背き去っても、わたしはあなたがたのために、与えられたものを既に伝えた。

主はあなたがたの代りに、他の民を継がせられた。あなたがたは少しも、かれを害することが出来ないのである。本当にわたしの主は、凡てを見守られる。(コーラン11:57)

の神秘に基づいて、すべての物が、そのすべてにおいて、そしてすべての状態において、同一の偉大なる創造主を必要とする。

そう、宇宙における存在物を観察して分かるが、絶対なる弱さの中にある絶対なる強さが現れている。絶対なる無力の中にある絶対なる力の形跡が見受けられる。例えば植物の種や根における生命欲求の芽生えの時に示す素晴らしい情景のように・

絶対なる貧困や干越の中に絶対なる富裕の兆しがある。冬の大地や樹木の貧弱した情景とその春の時の華やかな豊かさとのように・

絶対なる無機の中に絶対なる生命の滴が見える。無機物が有機物に転化するように・

絶対なる無知の中にある包括的な意識が現れている。粒子から星まで、すべての物の運動における、宇宙を秩序付け、生命の維持を確保し、神秘の要求を充たす様子の、あの意識のかのような様子のように・

この無力の中の権力、そして弱さの中の強さ、そして貧困の中の豊かさと富、そして無機・無知の中の生命と意識は、明らかに且つ必然的に、ある絶対なる権力者、絶対なる強者、絶対なる富者、絶対なる知者、生命維持者たるお方の存在の必然性及び唯一性に向けてあらゆる方面からたくさんの窓を開き、その全体をもって、大きな尺度で、ある光の道を指し示す。

おお、自然の沼にはまった無知の者よ！もし自然を諦めて、神の力を認めなければ、すべての物において、すべての粒子に

において無限の強さと力及び終わりのない智慧と能力及びほとんどの物を見知し、運営する権力を認めなければならなくなる。

15番目の言葉

﴿الَّذِي أَحْسَنَ كُلَّ شَيْءٍ خَلَقَهُ﴾

創造された一切を、最も善美なものになされる(御方)(コーラン32:7)

の神秘に基づいて、すべての物に対して、その物の内なる能力に応じて、調和と秩序で合わせられ、美しく整えられ、最も手短か、最も美しく、最も軽、最も便利に(例えば、鳥類の服装やいつも容易に動かすその羽やその使い方を見よ)、無駄なく聡明な方法で存在を与えられ、形付けられていることは、その物の数だけの言語でもって、ある聡明な創造主の存在の必然性を証明し、ある絶対の知者なる権力者を指し示す。

16番目の言葉

地上において季節ごとに新しくなる被造物の性質とその運営における秩序は、明らかに、ある全体的な叡智を指し示す。形容は対象がなければならず、むしろ、その全体的な叡智は必然的にある聡明な方を指し示す。

その叡智の幕の中の素晴らしい装飾は、明らかに、ある完全な恩恵を指し示す。そして、その完全な恩恵は必然的にある天恵豊かな偉大なる創造主を指し示す。

そして、その恩恵の幕における一般に行き渡る恩寵は明らかに、ある包括的な慈悲を指し示す。そして、その包括的な慈悲は必然的に慈愛深、慈悲普く方を指し示す。

そして、その慈悲の幕の上に、糧を求めるすべての生命物それ相応で完璧な養育と養成は、明らかに、教育者のような保

養と慈悲深い神性を指し示す。その育成と運命は必然的にある偉大なる養育者を指し示す。

そう、地上において、完全な叡智で育成され、完全な恩恵で装飾され、完全な慈悲で恵まれ、完全な慈愛で養育されるすべての被害物は、それぞれ、ある聡明で偉大で慈悲深い養育者なる創造主の必然性を証明し、その唯一性を指し示すと同時に、地上の全体で現れ、一般に見られ、意志を明らかに示す全体的な叡智と、そして叡智を含み、全般の被害物に行き届く完全な恩恵と、そして恩恵と叡智を含み、地球全体の存在物に行き届く包括的な慈悲と、そして慈悲と恩恵と叡智を含み、全般の生命物に行き届く形で偉大な方法による養育と一般の養成とを全体的に視認に入れて、見よ：

七つの色は光を成すように、そして地上を照らすその光が疑いなく太陽を指し示すように、その^{えいち}叡智の中の恩恵と、恩恵の中の慈悲と、慈悲の中の養育は最高にも聡明で偉大で慈悲深い養育者たる必然的な存在の唯一性とその神性の完全性を輝きながら指し示す。

おお、道を迷った無知の否定者よ！目前のこの聡明且つ偉大で慈悲深い養育者らしい養成とこの不思議で素晴らしい奇跡的な状況を何で説明するのか？あなたのように迷える偶然によってなのか？そして、あなたの心のように盲目の力で説明するのか？そして、あなたの頭のように蠱惑の自然によって説明するのか？あるいは、あなたのように無力で無機で無知の原因で説明するのか？それとも、無限に神聖で純粹で純潔で崇高且つまた無限にカディール（権力者）・アーリム（知者）・セムイー（聞こえる者）・パースィール（見える者）である偉大なる方に対して、無限に無力で無知で蠱惑で盲目且つ無能で創造された「自然」の名を付けて大いなる過ちを犯したいというのか？

太陽のように輝くこの真理をどのような力で消そうというのか、どの無知の幕の下へ隠そうというのか？

17番目の言葉

﴿إِنَّ فِي السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ لَآيَاتٍ لِلْمُؤْمِنِينَ﴾

本当に天と地には、信者たちにとり種々の印がある。（コーラン45:3）

地上の表面を夏の時に観察して見ると、ものの性質にあり、混雑をもたらす、混沌の要因となるはずの無限の気前よさと絶対なる寛大さが極限の秩序と相互適合として見える。地上の表面を飾るすべての植物を見よ。

そして、不作法と無造作をもたらすはずの、ものの性質にある絶対なる速度も完全な調和として見える。地上の表面を装飾するすべての果物を見よ。

そして、無意義を、場合によっては不細工をもたらすはずの絶対なる多量性も完璧な美術として見える。地上の表面を輝かせるすべての花を見よ。

そして、単純さをもたらすはずの、ものの性質にある絶対なる容易性も無限の創造性、巧みと繊細さとして見える。地上の樹木や植物の道具箱及びプログラム及び生命の定めとしてのすべての種を注視せよ。

そして、不和と別働隊をもたらすはずの絶対なる距離性、絶対なる連帯として見える。地上のあらゆる方面で耕されるすべての種類の穀物を見よ。

そして、混交と感染をもたらすはずの完全な相互関係が逆に完全な差異と区別として見える。すべての地下にばらまかれ、物質として互いに類似する種が大きくなるにつれて異なってい

く姿や、樹木に入る様々な物質が葉や花や果物へと分かれていく姿や、胃に入る色々な栄養が様々な器官や細胞へと分かれていく姿を見て、完全な神秘の中の完全な権力を見よ。

そして、無意義や無価値をもたらすはずの極限の多量性や無限の安眠性もまた、地上において創造として最大限に貴重で高価な様子を呈する。その無限の創造の不思議の中で、地上の慈悲深い食卓で、ただ、権力の菓子である桑のみの種類を見て、完全な慈悲を完璧な創造性の中で見出せよ。

見よ、すべての地上において、大いなる価値と共に無限の安さ、無限の安さの中で、無限の混交と混雑と共に無限の差異と区別が、無限の差異と区別の中で、大いなる距離と共に最大限の適合性と類似が、そして最大限の類似の中で、大いなる便利性と容易性と共に非常に繊細な創造性が、そして非常に繊細な創造性の中で、絶対なる速度と共に極度の順序と秩序と無駄のなさが、そして徹底した無駄のなさの中で、最大限の多量性と共に最大限の美術性が、そして最大限の美術性の中で、極限の寛大さと共に絶対なる秩序が、もちろん昼間が光を、光が太陽を指し示すように、ある偉大なる権力者の、ある完璧な知者の、ある寛大な慈悲深き方の存在の必然性及びその権力の完全性及びその完全な神性及び唯一性を証明し、

﴿لِلَّهِ الْأَسْمَاءُ الْحُسْنَى﴾

最も美しい御名はかれに属する。(コーラン20:8)の神秘を指し示す。

ああ、無駄なる者よ、道に迷った者よ、頑固な者よ、停止した者よ！この最大の真実を何でもって解釈しようというのか？この無限の奇跡と素晴らしい様子を何でもって説明しようというのか？この終わりなく不思議な創造を何に求めようというのか？この地球ほど広い窓をどの無駄の布で覆い被そうというの

か？あなたのあの偶然はどこだ、自然とあなたが呼んで信じるあの無意識の同志であり、共に迷子になっているあなたの支えの友人は今どこだ？これらのことに偶然が介入するのは不可能ではないのか？そしてこれらの素晴らしい事柄の千分の一でさえ自然に求めるのが不可能ではないのか？それとも、無機で無力の自然の、あらゆるものの中にそのものでできるものの数だけ機械や印刷所があるとでもいうのか？

18番目の言葉

﴿أَوَلَمْ يَنْظُرُوا فِي مَلَكُوتِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ﴾

かれらは天と地の大権に就いて観察し、またアッラーが創られた凡ての事物に就いて考察しないのか(コーラン7:185)

22番目の言葉で説明される比喩を見よ：完璧で、秩序があって、巧みで、宮殿のような作品が、明らかに、整然とした動作を証明する。つまり、ある建物が大工の仕事を証明する、そして、完璧で整然とした動作は、必然的に、ある完璧な主体を、巧みな職人を、大工を証明する。そして、ある完璧な職人や大工という名称は、明らかに、完璧な形容を、つまりある創造の技術を証明する。そして完璧な形容とその完璧な創造の技術は、明らかに、完璧な才能の存在を証明する。そして完璧な才能は、偉大な魂と高貴な方の存在を証明する。

そのように、大地の表面を覆う被造物は、明らかに、完璧な動作を指し示している。

そして、その極限に秩序的で聡明な動作は、明らかに、その名称が完璧なある主体を指し示している。秩序的で聡明な動作には、主体がないとありえない。

そして、最大限に完璧な名称は、その主体の最大限に完璧な形容を証明する。言語学において、主語の名称は動詞から作られるように、名称の源泉は形容である。

そして、最大限に完璧な形容は、疑いなく、最大限に完璧な神秘の仕事をも証明する。

そして、神秘の才能は、説明できないほどの神秘の仕事は、紛れもなく、無限に完璧な方を証明する。

見よ、全宇宙の被造物やすべての生命物は、それぞれが完璧な作品であるが故に、それぞれがある動作を、動作が名称を、名称が形容を、形容が特徴を、特徴がある存在を証明する。したがって、それら一つひとつが、被造物の数だけ、唯一の偉大な創造主の存在の必然性とその唯一性を指し示すと同時に、その全体でもって全被造物ほど強力な能力にアッラーについての知識を上昇させる。いかようにも疑いを入れない継続的な真理の証明である。

では、無力で無知の否定者よ！全宇宙ほど強力なこの証明を何でもって崩そうというのか？被造物の数だけ、真理の光を指し示すこの無数の網の目を持った窓を何で覆おうというのか？どの無数の布で覆い被そうというのか？

19番目の言葉

﴿تَسْبِيحٌ لَهُ السَّمَوَاتُ السَّبْعُ وَالْأَرْضُ وَمَنْ فِيهِنَّ﴾

﴿وَأَنْ مِنْ شَيْءٍ إِلَّا يُسَبِّحُ بِحَمْدِهِ﴾

7つの天と大地、またその間にある凡てのものは、かれを讃える。何ものも、かれを讃えて唱えないものはない。(コーラン17:44)

の神秘に基づいて、偉大なる創造主は、天体の物質に様々な智恵や意味を備えている。その偉大さと美しさを表現するためかのように、天体を太陽や月や星の言葉で飾っている。同様、また、天空に生成する存在に様々な智恵や意味や目的を付けている。まるで、その智恵の完全性や慈悲の美しさを教えるかのように、天空を雷や滴の言葉で会話させている。

そしてまた、地球の頭脳を、動物類や植物類といった意味深い言葉で会話せ、その創造の完璧さを宇宙に指し示しているように、その頭脳の一つ一つの言葉である植物や樹木を、また、葉や花や果物といった言葉で会話せ、また、その創造の完全性と慈悲の美しさを表している。そしてまた、一つ一つの言葉である花や果物を小さな種という言葉で会話せ、その創造の偉大さと神性の完全性を意識ある者に対して教えている。

この無限の唱えの言葉の中で一つのつぼみと一本の花の表現を、耳をすませて聴こう。いかに証明しているか、理解しよう。

それぞれの植物、それぞれの樹木は、各々の言語で創造主を指し示し、注目する者を驚かせる。そして、それを見る者を「スパーナッター！いかにも美しく証明している！」と言わせる。

それぞれの植物が開花の時に、そしてつぼみを生成させる瞬間に、微笑むような精神豊かなその発言が自らのように美しく、明瞭である。それぞれ一つ一つの花の美しい口元や秩序的なつぼみの言語で、そして調和のとれた種の言葉で神秘を指し示すその秩序は、観察すれば、学問を指し示す規則性を持っている。そして、その規則性は、創造の巧みさを指し示すような技が施されている。そして、その創造の技は心躍りさと寛大さを指し示すような宝飾を施されている。そして、その宝飾も慈悲と恩恵を指し示す素晴らしい香りを呈している。そして、それぞ

れ互いに入り込んだ状態のこの意味深い様子は正に証明の言語であり、美しい創造主をその名称でもって説明し、その形容詞でもって形容し、その名の現象を解釈し、そして、その愛されることと知られることを表現する。

見よ、一本の花からこれだけの証跡を聴くようなら、大地の表面の神聖な畑のすべての花を聴けば、いかほどの力でそれらが偉大なる創造主の存在の必然性と唯一性を指し示しているかが聞こえれば、疑いや心配や無知が残るのであるか？それでも、もし残るのなら、あなたは人間だと、意識ある者だと呼ばれ得ようか？

さあ、お出で、一本の樹木を注意して見よ。春の季節に葉が正確に生えてくること、花が調音的に咲いてくること、果物が神秘によって、慈悲によって育つこと、そして、枝にもたれて無邪気な子供のように風に揺られていることの中の美しい口元を見よ。寛大な手によって緑になる葉の言語で、そして、恩恵の喜びで微笑む花の言語で、そして、慈悲の現象で笑う果物の言語で表現される神秘の秩序の中の公正な規則性、公正を指し示す規則性の中にある注意深い創造や技、巧みな技と宝飾の中の慈悲と恩恵を指し示すそれぞれ別々の味わいやそれぞれ別々の美しい香りや美味の中で一つ一つ大なる力の奇蹟である種が、明確に、ある聡明で偉大で慈悲深く恩恵豊かで栄養と

びぼう、美貌

と美德を与える創造主の存在の必然性と その唯一性と 慈悲の偉大さとその神性の完全性を指し示す。すべての地上の樹木の言語をそのまま聴くことができれば、あなたは、

﴿يَسِّحُ لِلَّهِ مَا فِي السَّمَوَاتِ وَمَا فِي الْأَرْضِ﴾

天地にある凡てのものは、彼（アッラー）を讃える（コーラン59:24）

の宝箱の中どこだけの美しい宝石があるのかを見て、理解するであろう。

おお、恩恵を忘れて自分を独りだと思こむ不運の無知な者よ！これだけの無限の言語で自らをあなたに知らせ、愛情の念を湧かせる美しく偉大なる方を知りたくないのならば、これらの言語を止めなければならぬ。止められないのなら、耳をすませて聴くべきである。無知で耳を塞いでも救われぬ。あなたが耳を塞いだからといって宇宙が制止する訳ではない、全存在が沈黙する訳ではない、唯一性の証明者たちが声を絶やす訳ではない。むろん、あなたを断罪するであろう。

20番目の言葉

﴿فَسُبْحَانَ الَّذِي بِيَدِهِ مَلَكُوتُ كُلِّ شَيْءٍ ۗ وَإِنَّ مِنْ شَيْءٍ

الْأَعْدَانَا خَزَائِنُهُ وَمَا نُنزِلُهُ إِلَّا بِقَدَرٍ مَعْلُومٍ ۗ وَأَرْسَلْنَا

الرِّيَّاحَ لَوَاقِحَ فَأَنْزَلْنَا مِنَ السَّمَاءِ مَاءً مُبَارَكًا

فَأَسْقَيْنَا كُمُوهُ وَمَا أَنْتُمْ لَهُ بِخَازِنِينَ﴾

かれにこそ凡ての称讃あれ。その御手で万有を統御なされる御方、あなたがたはかれの御許に帰されるのである。（コーラン36:83）

どのようなものでも、われにその（無尽の）蓄えのないものはない。（必要に応じた）一定の分量以外には下さないだけである。

またわれは豊沃にする風を送り、天から雨を降らせて、それをあなたがたに飲ませる。だがあなた

がたはその（宝庫の）管理者ではない。（コーラン15:21-22）

部分や結果や詳細において神秘の完全性と創造の美しさが見えるように、偶然で混雑したものだと思われる全体的な要素や大きな存在物の外見の混雑した様子もある神秘と創造によって形成する。

見よ、光が輝くということは、様々な神秘な貢献の証明によって、地上においてアッラーの被造物を神聖な許可に基づいて展示し、公表することである。世界の市場の展示における古き芸術はそれによって見せられる。

今、風を見よ、風は様々な聡明で偉大な貢献と義務の証明によって、非常に重要で多数の義務を付けられている。その波は、聡明なる創造主による義務付けであり、活用であり、利用である。それは、神聖な命令をはやく果たそうと急いで働くということである。

今、泉や小川や川を見よ！大地や山から湧き出ることには偶然ではない。—それらに関係し、慈悲の結果である貢献や成果の証明によって、山において必要な分量で蓄積するという表現に基づいて、また、ある蓄積的な分量で送られていることの証明によって示されるが—、それはある聡明な主の説教と蓄積によるものである。そして、湧き出てくるのは、ただ、彼の命令に喜んで従っているということである。

今、大地のすべての岩石や鉱物の種類を見よ！これらの装飾や有用な特性が、ある聡明な創造主の装飾によって、その仕掛けによって、その運営によって、その描写によってできあがっていることを、それらに関する神秘的な利点や生命への貢献や人間と動物の必要に適合した様子が指し示している。

今、花や果物を見よ！それらの微笑みや味や美しさや装飾や香りというのは、ある偉大なる創造主の、ある慈悲深い養育者の食卓において、それぞれの説明書や案内状として、様々な色や香りや味がそれぞれの種に別々の説明書や案内状として与えられているのである。

今、鳥を見よ！それらの語り合いやさえずり合いは、聡明な創造主の力によるものである絶対的な証拠は、不思議なほどに互いにその声で感情を伝え合い、用件を表現し合っているということである。

さあ、今、雲を見よ！雨の降る音は無意味な音ではなく、雷とその音はただの騒音ではないという絶対的な証拠は、大空の中でその不思議なものを生成させ、それから生命の水としての滴を絞り出し、地上の無力でそれを必要としている者たちにそれを届けることによって示されるが、その雨の音、その雷の音は、意味深、神秘深、ある偉大なる主の命令に基づいて叫ぶのであり、「喜べ！そちに迎へ着ぞ！」との意味を表現しているのである。

今、空を見よ！空の中の無数の物本の中でただ月だけに注目せよ！その運動は、ある聡明なる権力者の命令によるものであり、それに関わる地上の様々な神秘もあるが、他で述べたのでここでは言及しない。

光から月まで述べてきた全体的な要素は、非常に広大な形と大きな尺度で一つの窓を開き、ある必然なる存在の唯一性とその権力の完全性と其の支配の偉大さを指し示し、公表するものである。

さあ、無知の者よ！この雷の音のような叫びを沈黙させ、太陽のように輝くこの光を消せるのであれば、アッラーを忘れてもよい！でなければ、理性を呼び起こさない！

﴿سُبْحَانَ مَنْ نُسَبِّحُ لَهُ السَّمَوَاتُ السَّبْعُ وَالْأَرْضُ وَمَنْ فِيهِنَّ﴾

7つの天と大地、またその間にある凡てのものは、かれを讃える。(コーラン17:44)と言いなさい。

21番目の言葉

﴿وَالشَّمْسُ تَجْرِي لِمُسْتَقَرٍّ لَهَا ذَلِكَ تَقْدِيرُ الْعَزِيزِ الْعَلِيمِ﴾

また太陽は、規則正しく運行する。これも全能全知な御方の摂理である。(コーラン36:38)

宇宙の灯である太陽は、宇宙の創造主の存在と唯一性に関わる太陽のように輝く窓である。太陽系と呼ばれ、わが地球を含む十二の惑星が、その分量が小ささ・大ききからして様々で、その位置が近さ・遠さからして多様で、その運動速度が色々であるにもかかわらず、完璧な秩序と叡智でもって規則的に一秒も狂いことなく運動し、回転する様子やそれらが太陽に引力の法則と呼ばれる神聖な法則で結ばれている様子は、つまり、そのイマームへの忠誠は、アッラーの力の偉大さとその唯一性を指し示す。

あの無機個体を、あの無意識の物体を、最大限の秩序と神秘の制度で様々な形で、様々な距離で、様々な運動で回転させ、従事させることは、いかに大きな力と神性を証明しているか、比較してみよ。この大きくて重い仕事に微々たる偶然が介入したら、あまりにも大きな爆発が生じ、宇宙が崩壊するであろう。一分の偶然がその一つに影響を与えたら、それが軸からは

ずれ、他と衝突する。地球より千倍も大きな物体の衝突の恐ろしさを想像できるであろう。

太陽系の、つまり、太陽の従者であり、成果である十二の惑星の不思議なアッラーの神聖な知識に求めるとして、目の前にあるわが惑星の地球を見て解るが、わが惑星は、神聖な力の偉大さとアッラーの君主性の偉大さと叡智の完全性を示す形で、太陽の周りを主の命令によって一三番目の手紙で述べたように一丸なる義務のために長い旅をさせられているのである。神聖な大船として、アッラーの不思議な被造物たちを乗せられ、アッラーの意識ある僕のための見物舞台のように移り変わる住居の様子を与えられている。そして、時間と計算を伝達する時計の針のように、月が、丸いなる叡智に基づいてそれに付けられ、その月にも別の行程と旅行が与えられている。

見よ、この神聖なわが惑星のこれらの様子も地球と同じ規模の力である絶対なる権力者の存在の必然性と唯一性を証明するのである。この惑星はそうであるから、太陽系はなおさらそうである。

太陽に自らの軸において引力と叫ばれる精神軸な糸を与え、巻き車になるように、偉大なる権力者の命令で回転させ、惑星たちをその精神軸な糸で結んで秩序付け、そして太陽を一秒で五時間分の距離を超えるほどの速度で、一説によると「ヘラクレス座」の方面へ、あるいはより大きく中心的な太陽の方面へ方向付けていることは、むしろ、太古から未来までの主である偉大なる方の力と命令によるものである。まるで、神性の偉大さを指し示すためかのように、その従軍兵士である太陽系の大軍を移りさせるのである。

では、天文学者の紳士よ!どの偶然がこれらの事柄に介入できるのか?どの原因の手がこれに及ぶのか?どの力がこれに近づくのか?さあ、あなたが言いなさい!こ

のような偉大な君主が自らの領土に他人を介入させるのか？ましてや、宇宙の成果であり、結果であり、目的であり、要約である生命体を他人の手にゆだねるのか？他人に介入させるのか？ましてや、それらの成果の中の最も集合的で、その結果の中の最も完璧なもので、地上の宰相であり、その君主の鏡を持つ客である人間を放っておくのか？そして彼らを、然と偶然にゆだねて、君主制の偉大さを無に落とすのか？睿智の完全性を沈黙させるのか？

22番目の言葉

﴿الْمَ نَجْعَلِ الْأَرْضَ مِهَادًا﴾ وَالْجِبَالَ أَوْتَادًا ﴿
﴿وَخَلَقْنَاكُمْ أَزْوَاجًا﴾ فَأَنْظُرْ إِلَى آثَارِ رَحْمَتِ اللَّهِ
﴿كَيْفَ يُحْيِي الْأَرْضَ بَعْدَ مَوْتِهَا﴾

われは大地を、広々としなかったか。また山々を、杭としたではないか。われはあなたがたを両性に創り、(コーラン78:6-8)

さあアッラーの慈悲の跡をよくみるがいい。かれが如何に、死んだあとの大地を甦らされるかを。(コーラン30:50)

地球は、十万の口を持つ頭である。それぞれの口に十万の言語がある。それぞれの言語に十万の証拠があり、それぞれが様々な面で、必然的に存在し、唯一であり、すべてに力の及ぶ、すべてを知る偉大な方の存在の必然性とその神聖な形容と美名を証明する。

地球の性質を見て解るが、液状の流動的な物質から石が、石から土が作られている。液体のままであれば、居住はできなかつた。

その液体が石になってから鉄のように堅ければ、利用できなかった。むしろ、それにこの様子を与えたのは、地上の居住者の必要を見た聡明な創造主の睿智である。

それから、土の層は、内部の変化から生じる地震が山によって呼吸し、地の運動と義務を妨げないように、山という柱の上に張られている。海の侵略から土を守っている。生命体の生命維持のための宝庫となっている。空気を濾過して、有害なガスを排除し、呼吸を可能にしている。水を貯めて、蓄積している。生命体に必要な様々な鉱物の源泉となっている。

この様子は、ある絶大な権力者と慈悲深い聡明な方の存在の必然性と唯一性を強力に且つ絶対的に証明している。

さあ、地理学者の紳士よ！これを何で説明するのか？いかなる偶然が、この不思議な被造物を乗せた神聖な大船を不思議な展示場にして、二万四千年同じ距離で同じ速度で回転させているにもかかわらず、その表面にこなっているものを何一つ落とさないというのか？

地上の不思議な芸術を見よ！被造物は、何とも聡明に義務づけられている。同じ聡明な権力者の命令に基づいて、地上の慈愛の客たちを何ともよく養い、その面倒をみているではないか。

不思議な創造の中で大地の表面の色鮮やかな神妙深い樹木を見よ！居住者たちに川や小川を、海や泉を、山や丘を、それぞれの被造物や僕に適した住居にし、移動手段にしているではないか。それから何十万もの植物の種類や動物の種類を完璧な神秘と秩序で住まわせて、生命を与えて喜ばせ、時に応じて秩序的に死をもって退役させ、空間を空けて、また、秩序的に「死後の生」を与えられていることも、ある偉大な権力者と完全なる聡明者の存在の必然性と唯一性を何十万もの言語で証明している。

要約: 表面が、不思議な存在の展示場であり、不思議な被造物の集会場であり、存在物の大軍の行進道路であり、僕たちの寺院且つ参謀本部である地球は全宇宙の心臓であるが故に、宇宙と同じ規模で唯一性の光を指し示す。

では、地理学者の紳士よ、この地球が十万もの口の、それぞれ十万もの言語でアッラーを知らせているのに、あなたが彼を認めないのなら、頭を自然の泥沼に入れて出さないのなら、その罪の大きさを考えてみよ。それはどれほど恐ろしい刑罰に相当するか、

理解して、目覚めよ。そして、頭を泥沼から出して、

﴿أَمِنْتُ بِاللَّهِ الَّذِي يَبِيدُ مَلَكُوتَ كُلِّ شَيْءٍ﴾

凡てのものの主権を手にするアッラーを信仰します。と述べよ。

23番目の言葉

﴿الَّذِي خَلَقَ الْمَوْتَ وَالْحَيَاةَ﴾

(かれは) 死と生を創られた方である。(コーラン67:2)

生命は、神聖な力の奇蹟の中で、最も光り輝き、最も美しいものである。そして、唯一性の最も強力で明瞭な証拠である。そして、すべてによって必要とされる神祕の現象の鏡の中で最も集約的なもので、最も明確なものである。

生命は、それだけで、ある全能者を、すべての名称とすべてのの事業とともに知らせる。生命は、たくさんの形容の融合のような光であり、薬である。七つの色が光において、そして様々な治癒的要素が薬において融合しているように、生命も様々な形容で造られた真実である。その真実における形容の一部は感

覚を通じて拡張し、発展して、別れるが、その多くは感傷して自らを感じさせ、そして、生命から湧き出るように自らを知らせるのである。

生命は、宇宙の運堂と秩序を支配する恩恵と慈悲と援助と叡智を内包している。まるで、生命は、それらを後ろに付けて、自らはいるところにそれらを引き連れている。例えば、生命は、ある物体に、ある身体に入った時に聡明という名が現れ、叡智でもってその住処を綺麗にして、片付ける。同時に寛大さという名が現れ、その住処を必要に応じて片付け、装飾する。同時にまた、慈悲とという名の現れが見え、その生命の継承と育成のために様々な恩恵でもって恵む。また同時に、恩恵者という名の現れが見え、その生命の継承と育成のために必要な物理的・精神的な栄養を育てる。そして、それを部分的にその身体で蓄積させる。

ということは、生命は、ある焦点のようであり、様々な形容が互いに入り交じり、多分に互いに同化する。まるで、生命は、完全に智慧であり、同時に権力であり、同時に叡智と慈悲である。生命は、この複合的な特性からして、神聖な方の事業を映し出す永遠に自存する鏡である。

この神祕によって解るが、全能者である存在の必然たる方は、生命を多様な複数性でもって創造し、展示しているのである。そして、すべてを生命の周囲に集め、その使用人になっている。それは、生命の義務が大きいからである。偉大さの鏡であることは、そう容易なことではない、平凡な義務ではない！目の前でいつも見ている無限で無数の新しい生命と生命のもとである魂は突如皆無から生成し、送り込まれることは、存在の必然的な方の、全能者である方の存在の必然性と神聖な性質と美しい名を、光線が太陽を指し示すように指し示している。太陽を知らず認めない者は昼間いっぱい光も否定しなければならな

いように、全能者であり、愛され希望される唯一性の太陽を認めない者は、地球の表面を太古から未来までいっぱいにする生命体の存在を否定し、動物以下に落ちぶれなければならない。生命の格を失って、無機で無知のものにならなければならない。

24番目の言葉

﴿لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ كُلُّ شَيْءٍ هَالِكٌ إِلَّا وُجْهَهُ
لَهُ الْحُكْمُ وَإِلَيْهِ تُرْجَعُونَ﴾

かれの外には、神はないのである。かれの御顔の外凡てのものは消滅する。裁決はかれに属し、あなたがたは（凡て）かれの御許に帰されるのである。（コーラン28:88）

死は、生命と同様に神性の証拠である。唯一性のために強力な証明書である。

﴿الَّذِي خَلَقَ الْمَوْتَ وَالْحَيَاةَ﴾

（かれは）死と生を創られた方である。（コーラン67:2）

の証明に基づいて、死は、無や滅亡や主体のない消滅ではなく、聡明な主体による貢献の終了・空間の移動・身体の変装・義務の休養・身体という牢獄からの解放であり、秩序的であり、神秘の成果である、と一番目の手紙で述べている。

地球の表面の被造物や生命体や生命豊かな地面は、聡明な創造主の存在の必然性とその唯一性を

証明しているように、それらの生命体はその死でもって、永遠なる全能者の継続性と唯一性を証明しているのである。22番目の言葉で、死は唯一性の非常に強力な証拠であり、継続性の証拠であると証明し、説明されているので、この主題をその言葉に求め、ただ一つ重要な部分を述べるとする。つまり：

生命物は、その存在によって必然的な存在の存在を証明しているように、生命物は、その死によって、永遠なる全能者の継続性を、唯一性を証明しているのである。例えば、それだけで一つの生命体である地面は、その秩序でもって、その様子でもって創造主を指し示すように、死んだときに、つまり、冬が白い衣で死んだその地面の顔を覆ったときに、人の視線がそれを離れる。あるいは、その視線は、去っていった春の葬式の後ろを追って、過去へ戻り、より広大な景色を指し示す。つまりそれぞれが各々権力の奇跡である地面いっぱいのすべての過ぎ去った春ほどに、新たに来る一つ一つ権力の奇跡で生命豊かな春いっぱいの存在物の到来を感じさせ、その存在を証明しているからこそ、広大且つ強力に輝きながら、ある偉大なる創造主の、ある完全な権力者の、ある永遠なる全能者の、ある継続的な太陽の存在の必然性と唯一性と永遠性と継続性を証明し、いかにも輝く

証拠を示して、明確に、「アッラーの唯一性を信じる」と言わせるのである

﴿وَيُحْيِي الْأَرْضَ بَعْدَ مَوْتِهَا﴾

また(かれは)枯れ果てた大地を甦らせる。(コーラン30:19)

の神秘に基づいて、生命を与えるこの地面は、一つの春において創造主を証明しているように、その死によって、時間の過去と未来という二つのつばさに並べられた奇蹟に注目を向けている。一つの春ではなく、何千もの春を指し示している。一つの奇蹟ではなく、何千もの奇蹟を指し示している。そして、その一つ一つの春は、今この春より、もっと絶対的に証明しているのである。なぜならば、過去へ去っていった春たちは、表面の原因とともに去っていき、その後、他のものがやってきているからである。ということは、表面の原因は無である。ただ、ある偉大なる権力者がそれを作って、神秘でもって、原因につなぎ、送り込んでいるのである。そして、未来の時間に並べられた生命豊かな地面はもっと輝きながら証明しているのである。なぜならば、改めて皆無から新たに作られて、送り込まれて、その位置に置かれ、義務を果たせられ、それから帰らせられていくからである。

では、自然にはまり、その沼で呼吸困難になっている無知の者よ！すべての過去と未来に及ぶ聡明且つ強力な神秘の手を持ち合わせないものが、いかにこの地面の生活に介入できようか？あなたのように、無の中の無である偶然や自然が介入できようか？解放されたければ、「自然は、精々、アッラーの力の手帳である。偶然は、私たちの無知を覆い隠すアッラーの^{えいち}、叡智の幕である」と言って、真理に近寄れ！

25番目の言葉

打たれるものは打つものの存在を証明するように、巧みな作品は美術家を必要とする。生まれたものは生んだものの存在を指し示す。下方は上方を必要とする。

すべての相対的な事柄といわれる互いがないとありえない比較によってのみ表現できる現象の数ほど、この宇宙の部分と全体において現れる可能性でさえ、必然性を指し示す。そして、それらにおける運動は、能動性を指し示す。そして、その全体における創造されている様子は、主の創造性を指し示す。そして、その全体における多様性と合成は唯一性を必要とする。そして、必然性と能動性と創造性と唯一性は、明確に且つ絶対的に、可能ではなく、受動的ではなく、部分ではなく、融合的ではなく、創造されたものではなく、必然的で能動的で唯一で創造主体という形容を要求する。それならば、明らかに、全宇宙のすべての可能性やすべての運動やすべての創造されている様子やすべての多様性と融合性は、存在の必然たる方を、全知全能な方を、全存在の創造主を、唯一なる存在を証明する。

概要 可能性から必然性が見え、運動から能動性が見え、多数性から唯一性が見えるように、その存在が後者の存在を絶対的に証明している。そのように、存在物の特徴として見える、創造されている様子や恩恵を受けている様子は、創造性と恩恵の存在を絶対的に証明する。この形容の存在だけでも、絶対的に、且つ明確に、創造し、恩恵を与える慈悲深い創造主の存在を証明している。

つまり、すべての存在物はそれぞれ身につけている顔やこのような形容の言語でもって、存在の必然たる方の何百もの美しい名を証明するのである。この証明が認められないのであれば、存在物のこの種の形容も否定する必要がある。

26番目の言葉

この宇宙の存在物の顔において新しくなり、そして過ぎ去る美しさは、ある繊細な美しさのある種の影であることを、自ら指し示すのである。小川の表面の水が輝いては消えていき、後ろを追ってくるものも去っていったものと同じように輝くということは、それが繊細な太陽の光線を映し出していることを指し示すように、流れていく時間の川の上で、移りゆく存在物の輝く美しさも、ある繊細な美しさを指し示し、まるで、その形跡であるかのようなものである。

宇宙の心臓の真実な恋は、永遠に恋される方を指し示す。樹木の本質にないものが、その果物にも存在しないという証明に基づいて、宇宙の系譜の果物である人間における真実且つ神聖な恋は、すべての宇宙に—だが違った形で—真実の恋と愛が

存在するということを指し示す。しからば、宇宙の心臓のこの真実の愛と恋は、永遠に愛される方を指し示す。

宇宙の胸において様々な形状で現れる魅力や魅了は、ある永遠なる魅力者の魅力によってそれが起こっているということを鋭敏な心に指し示す。

また、被造物の中でも最も繊細で光り輝くものである悟者と聖人の合意で、快樂と視力に基づいて、ある偉大なる方の現れに出会っており、その美しく偉大な方の、自分を知らせ、愛させることに快樂を覚え、その知らせを受けたことを、互の合意で伝え合っていることは、また、存在の必然たる方の、偉大なる方の存在を証明し、人間に自らを知らせていることを絶対的に証明している。

また、宇宙の顔と存在物の上に働きかける装飾の鉛筆は、その鉛筆主の名の美しさを明確に指し示している。

宇宙の顔の美しさとその心の恋と胸の魅力と瞳の悟りと視力、そして全体の美しさで装飾は非常に華やかで光り輝く窓を開く。それによって、すべての名の美しい偉大なる方を、永遠に愛される方を、永遠に崇拜される方を鋭敏な理性と心に指し示すのである。

見よ、物理の闇に、不安の苦痛に、窮屈な懷疑の中にあがく無知の者よ！自覚せよ！人間性に相応しい形へ上昇して、この四つの穴から見て、唯一性の美しさを見よ、信仰の完成を得よ、真の人間となれ！

この窓は、一般ではなく、心ある者や恋する者のためである。

27番目の言葉

﴿اللَّهُ خَالِقُ كُلِّ شَيْءٍ وَهُوَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ وَكِيلٌ﴾

アッラーは、凡てのものの創造者であり、また凡てのものの管理者である。(コーラン39:62)

宇宙において諸々の「原因」と諸々の「結果」として見える事物を見て解るが、どんなに大きな原因であっても、ほんの小さな結果をもたらすことさえできていない。従って、原因はものの覆面に過ぎない。結果を成すのは違う何かである。例えば、数限りのない被造物のなかから拙い一例として人間の頭脳の中で僅かな位置を占める記憶域を取り上げるとしよう。直ぐに解るのだが、偉大な書物の集大成か図書館のような威力を呈し、総ての人生の流れを混同させずに記録されているのである。

いったい、この力の奇跡をどのような原因が示しうるのだろうか。脳膜なのか。単純で意識を持たない細胞なのか！偶然の風なのか！あの創造の奇跡は偉大なるお方の創造に違いない。人間の最後の集會に発行される大なる行動の手帳から審判の時に思い出され、やってきた全ての行いが事前に書き記されていることを知らせるために小さな証明書を作成して理性の手に渡すという聡明なる創造主の創造に違いない。そして、人間の記憶域と同様の例として全ての卵を、核を、種を比較してみよ、そしてその他の小さな奇跡と他の諸々の結果を比較してみよ。いかなる結果や被造物を見ても、そこに無限に素晴らしい創造主があり、その小さくて単純な原因はまさか、全ての原因が集まってもそれに対して無力を表明するのみであろう。例えば、大きな原因だと思われる太陽を意志と意識を備えたものとして想定して、「ハエの体を造れるか」と尋ねたとしよう。無論

太陽は「我が創造主の恩恵によって私の宝庫には光や色や熱は多いが、ハエの体にある目や耳や生命のようなものは私の宝庫にもなければ、到底私の力の及ぶ範囲ではない」と答えるであろう。諸々の結果における素晴らしい創造主と装飾は、諸々の原因を排除して諸々の原因の原因である絶対なる存在を指し示し、

﴿وَالَيْهِ يُرْجَعُ الْأَمْرُ كُلُّهُ﴾

また凡ての事(物の決定)はかれに帰属する(コーラン11:123)

の神秘に基づいてあのお方に仕事を預けているのである。そのように、諸々の結果に付けられた結果や目的や利得は、明確に、原因の覆面の背景にある偉大なる主の、ある慈愛深い聡明な方の存在を指し示している。なぜなら、意識のない諸々の原因はもちろん何か目的を考えて働いているのではないからだ。明らかではあるが、存在する全ての被造物は一つだけの目的ではなく、たくさんの目的を、たくさんの利得を、たくさんの深慮を追って存在しているのである。ということは、偉大なる聡明なる主はそれらを造って送り届けるのだ。それらの利得を彼の存在の目的にするのだ。例えば、雨が降るとしよう。表面上雨を降らせる諸々の原因は動物達への考慮や同僚から程よいのである。ということは、動物達を創造し、その取り分を確保した慈愛深い創造主の深慮によって助けに来るのである。雨は「お慈悲」と呼ばれる。それは、たくさんの利得や慈悲の成果を含むので、まるで雨の形で慈悲が物質化し、雲となり、降ってくるのである。総ての被造物の顔に微笑む全ての飾りのある植物達や動物達の装飾や見栄えは明らかに見えないヴェールの後ろにいて、この美しい装飾や創造主によって自ら認められ、愛され、知られるように望む偉大なお方の存在の必然性と唯一性を

証明するのである。つまり、事物の飾りや見栄えは認めてもらい、愛してもらうという特徴を確実に証明している。愛してもらい、知ってもらうという特徴は、それ自体が愛され、よく知られている偉大なる創造主の存在の必然性と唯一性を証言している。

つなわち、原因はとても単純で無力で、それによるといわれる結果はとても創造性に富み、貴重であるため、原因を排除している。結果の目的や利得は無知で無情な諸々の原因を排除し、聡明なる創造主の手に預ける。また、結果の顔の装飾や才能は、自らの力を意識のあるものに見せようと望み、愛されようと望む聡明なる創造主を指し示す。

ああ、原因を崇拜する哀れなものよ！この三つの大なる真実をいかに説明できるのか。いかに自分を欺くのか。理生あるものならば、諸々の原因のヴェールを破り。(アッラーは)「唯一であり、同朋まいない」と明言し、無限の不安から解放されなさい。

28番目の言葉

﴿وَمِنْ آيَاتِهِ خَلْقُ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَاخْتِلَافٌ﴾

﴿الْسِّنِّكُمْ وَالْوَأْنِكُمْ إِنَّ فِي ذَلِكَ لآيَاتٍ لِّلْعَالَمِينَ﴾

またかれが、諸天と大地を創造なされ、あなたがたの言語と、肌色を様々異なったものとされているのは、かれの印の一つである。本当にその中には、知識ある者への印がある。(コーラン30:22)

宇宙を見て解るが、身体の細胞から全宇宙まで及び叡啓と秩序がある。

身体の細胞を見て解るが、その命令を通じて、そして身体の必要を見、それを運営するある規則を通して見ると、小さな細胞において重大な管理があることが分かる。胃袋の一部の栄養が脂肪として蓄積されて、その他が外部に出されるように、小さな細胞においても、そのような利用と蓄積がある。

植物細胞を見ると、聡明な育成と運営が見える。

動物細胞を見ると、最大限の寛大さに相応しい育成と養育が見える。

宇宙の巨大な要素を見ると、重大な目的のための豪華な運営と啓蒙が見える。

宇宙の全体を見渡すと、秩序的な国のような、都市のような、宮殿のような大きな叡啓と重大な目的のための完璧な秩序が見える。32番目の言葉の第一部で説明され、証明されているように、粒子から星まで僅かな介入も入る余地がないのである。すべてが互いに精神的につながれ、すべての星を征服し、手の中に入れていないものは、一個の粒子にもその神性を及ぼすことはできない。一個の粒子の真の主になるために、すべての星を所有しなければならない。

また、32番目の言葉の第一部で説明され、証明されているように、大空の創造と形成に力の及ばないものは、一人の人間の表情における人格化をなすことはできない。

即ち、全宇宙の主でないものは、一人の人間の表情における差異の現れである顔の模範を造れないのである。見よ、宇宙ほどの大きさの窓であり、それを通じて見れば、

﴿اللَّهُ خَالِقُ كُلِّ شَيْءٍ وَهُوَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ وَكِيلٌ﴾

﴿لَهُ مَقَالِيدُ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ﴾

アッラーは、凡てのものの創造者であり、また凡てのものの管理者である。

天と地の鍵はアッラーの有である。(コーラン 39:62-63)

の節が、大きな文字で宇宙のページに書き込まれているように、理性の目からも見えるのである。

ならば、それを見ないものは理性がないか、心がないか。あるいは、人間の身をまとった動物である。

29番目の言葉

﴿وَأَنْ مِنْ شَيْءٍ إِلَّا يُسَبِّحُ بِحَمْدِهِ﴾

何ものも、かれを讃えて唱念しないものはない。(コーラン17:44)

ある春の季節に、独りで、考え事に耽り、旅に出掛けている。小さな丘のもとを歩くときに、輝くような黄色い花を見かけた。昔、故郷や他の国で見た同種の黄色い花を思い出した。心に次のような意が浮かんだ：この花がいったい誰の金貨で、誰の印なのか、誰の絵なのか、きっと地上のすべてのこの種の花がその方の印であり、金貨である。

この印の夢想の後次ことが創造された：ある印で捺印されている手紙は、その印が手紙の送り主を指し示すように、この花も慈悲深い方の印である。この様々な画意意味深い植物で描かれたこの丘は、その花の創造主の手紙である。この丘も一つの印である。この平原は、まるで、慈悲深い方の大いなる手紙のようである。

この創造から次の真実が思い浮かべられた：あらゆるものはそれぞれ主の印のようであり、すべてのものを自らの創造主につなぎ合わせ、自らの書き主の手紙であることを証明する。

見よ、あらゆるものはそれぞれ唯一性の窓であり、全存在である唯一なる方に帰属させる。

即ち、あらゆるものそれぞれに、特に生命にまことに素晴らしい装飾と奇蹟のような創造性があり、それをそのように創造し、そのように意味深い装飾したものは、全存在を造ることができるのである。即ち、全存在を創造できないものは、一つのものも造り出せないのである。

見よ、無知の者よ！この宇宙の顔を見て、互いに入り込んだ無数の永遠の手紙のような存在の頁やそれぞれの手紙の上の無数の唯一性の印で捺印されたこのすべての印の証明を誰が訂正できようか？どの力が彼らを黙らせ得ようか？心の耳で聴けば、「アッラーの他に神はいないことを証明する」という言葉が聴こえてくるであろう。

30番目の言葉

﴿لَوْ كَانَ فِيهِمَا آلِهَةٌ إِلَّا اللَّهُ لَفَسَدَتَا﴾

﴿كُلُّ شَيْءٍ هَالِكٌ أَوْجْهَهُ لَهَ الْحُكْمِ وَإِلَيْهِ تُرْجَعُونَ﴾

もし、その(天地の)間にアッラー以外の神々があったならば、それらはきっと混乱したであろう。(コーラン21:22)

かれの御顔の外凡てのものは消滅する。裁決はかれに属し、あなたがたは（凡て）かれの御許に帰されるのである。（コーラン28:88）

この窓は、可能性と後発性に基づく一般的な神学者の窓であり、必然なる存在の証明に向かった道である。その詳細はシェフル・メバーキフ（*Şerhu'l-Mevâkıf*）やシェフル・マカーシド（*Şerhu'l-Makasid*）のような研究者たちの書物に求めて、ここではただ、クルアーンの光から、そしてこの窓から魂に入り込むいくつかの光線を示す。つまり：

命令と支配が必要とするのは、競争相手を認めないことであり、参加を拒否することであり、介入を排除することである。だからこそ、小さな村に村長が二人いれば、村の安定と安心が壊れてしまう。一つの町に町長が二人いれば、一つの県に知事が二人いれば、混乱が起こる。一つの国に国王が二人いれば、嵐を伴う大混乱が生じるのである。

支配と命令の影の脆弱な影であり、小さな見本であり、助けを必要とする無力の人間においてさえ競争相手や対立者や同類の介入を認めないのであれば、絶対的な支配と神聖な命令は、絶対なる権力者にとってその介入拒否の法則がどれだけ根

本的に作用するか検討できるであろう。即ち、神性の絶対的且つ継続的な必要は唯一性である。

その明確な証拠且つ絶対的な証明は宇宙の完全な秩序と美しさである。ハエの羽から天空の星まで、崇高な秩序があり、理性はその前で驚きと憧れに満ちて、「スプハーナッター・マーシャッター・バレカッター」といって、頭を下げる。ほんの少しでも介入の余地があったならば

﴿لَوْ كَانَ فِيهِمَا آلِهَةٌ إِلَّا اللَّهُ لَفَسَدَتَا﴾

もし、その（天地の）間にアッラー以外の神々があったならば、それらはきっと混乱したであろう。（コーラン21:22）

の偉大なる節の証明に基づいて、秩序が失われ、姿が変容し、悪の痕跡が現れたであろう。しかし、

﴿فَارْجِعِ الْبَصَرَ هَلْ تَرَى مِنْ فُطُورٍ ثُمَّ ارْجِعِ الْبَصَرَ﴾

﴿كَرَّتَيْنِ يَنْقَلِبُ إِلَيْكَ الْبَصَرُ خَاسِئًا وَهُوَ حَسِيرٌ﴾

それで改めて観察しなさい。あなたは何か裂け目を見るのか。

それで今一度、目を上げて見るがいい。あなたの視線は、（何の欠陥も捜し出せず）只ぼんやりしてもとに戻るだけである。（コーラン67:3-4）

の証明に基づいて、人間の視線は、欠点を探そうとどんなに努力しても、どこにも欠点を見出せずに、疲労して、発せられた

眼に戻って、送り主の批判的理性に「無意味に疲労してしまっ
た、欠点がない」と言うことが示すとおり、秩序は完璧である
。宇宙の秩序は唯一性の絶対的な証明である。

後発性について申し上げるならば、神学者は次のように述べて
いる：「世界は変化する。変化するものは後発的である。い
かなる発生にも形成者がおり、創造者がいる。したがって、こ
の宇宙にも太古からの創造者がいるのである。」

私はこう申し上げる：その通り、宇宙は後発的である。世紀
毎に、年ごとに、あるいは季節毎にある宇宙が過ぎ去り、もう
一つが到来する。ある偉大なる権力者がいてこそ、この宇宙を
皆無から創造し、年ごとに、あるいは季節毎に、あるいは日毎
に、一つを創造して意識ある者に指し示し、そしてそれを取り
上げて、他のものを持ち寄り、次から次へとつないで鎖状に時
間の糸につり下げるのである。むしろ、この世界のようにそれ
ぞれ新たな宇宙のような各々の春も、目の前で皆無から到来し
ては過ぎ去る宇宙を創造するある偉大なる方の権力の奇蹟であ
る。むしろ、世界の中で各々の世界を創造しては置き換える方
は、絶対にこの世界をも創造しており、この世界と地面を彼の
偉大な客のための迎賓館に仕上げておられる。

可能性を主題とするならば、神学者は次のように述べている
：「可能性とは両側が等しいことである。つまり、無と存在は
、等しいのであれば、割り当てる者が、選択する者が、創造す
る者がいなくてはならない。可能なものは互いを創造して、互
いに続くことはできないからだ。あるいは、一つがもう一つを
創造し、それがまた次のものを創造するような循環もありえな
い。したがって、存在の必然的な方がいて、彼の方がそれらを
創造しているのである。」循環と継続に関しては、十二の証拠
、つまりアルシーやスルレミーの名称で名付けられ、有名な十
二の絶対なる証拠をもって循環が覆され、継続がありえないと

証明され、原因の継続が絶たれ、存在の必然的な方の存在が証
明されているのである。

私はこう申し上げる：

諸原因は継続の証明でもって世界の終焉で絶たれてい
るということよりは、すべてにおいて全存在の創造主に有され
る金貨を指し示す方が絶対的且つ容易である。クルアーンの光
によって、すべての窓とすべての言葉はこの原則を追求したの
である。同時にまた、可能性の点において、無限の豊かさがあ
り、それは無数の面で、存在の必然的な方の存在を指し示して
いる。神学者の継続の断絶という道に、それは広大な道ではあ
るが、それにのみ占有される事柄ではない。それは無数の道に
よって、存在の必然的な方の奇蹟を指し示す。つまり：

すべてのものが、その存在において、その形容において、そ
の生涯において、無限の可能性、つまりたくさんの道や方向の
中で躊躇しているのに、その無限の方向の中で存在的に秩序あ
る道を歩んでいるのである。それぞれの形容が独自の方法でそ
れに与えられている。生涯において変化していった形容や状態
も同様の割り当てによって与えられている。ということは、そ
れはある割り当て者の意志によって、ある選択者の選択によっ
て、ある聡明な創造主の創造によって、無数の道の中から神祕
的な道に導かれ、秩序的という形容と状態が装いつせられるので
ある。

それから、孤立性から脱出されて、複合的な物質の部分にさ
れ、可能性が多くなる。それは物質において何千もの形態で存
在できるからである。無限の状態の中で、独自の状態が与えら
れ、重要な成果と役害とその物質における義務が果たされてい
る。

それから、その物質は他の物質の部分になって、可能性がよ
り豊かになる。それは何千もの形態で存在できるからである。

だが、その何千もの形態のうちから一つだけの状態が与えられ、その状態で重要な義務を果たされている。次第に、より絶対的にある聡明な運営者の存在の必然性を指し示し、ある知者たる命令者の命令によって導かれていることを伝えている。物質の中の物質は、互いの中で部分になるすべての複合体において、まるで、兵士がその小隊において、その部隊において、その連隊において、その軍隊においてそうであるように、互いに内包されているそれぞれの複合体は、各々独自の義務があり、叡智ある適合性があり、秩序的な役割があるのである。あなたの瞳の細胞が眼において相応の義務を果たしている。それは頭の全体にとってまた相応の叡智ある義務 役割を果たしている。それはほんの少しでも狂えば、健康と身体運営が崩れてしまう。それは、血管や感覚神経や身体全体に対してさえ独自の義務があり、叡智ある状態にあるのである。何千もの可能性の中で、ある聡明なる創造主の神秘に基づいて、その決定的な状態を与えられているのである。

そのように、この宇宙の存在物は、それぞれが自身の存在と形容によって、多数の可能性の中における独自の存在と 叡智ある姿と 有用な形容で必然的に存在する方を証明している。そのようにまた、それらがある複合体に融合したときに、それぞれの複合体において別々の言語で創造主を公表している。次第に、最大の複合体までもが、その分量と義務と 役割に応じて聡明なる創造主の存在の必然性と その選択と その意志を証明するのである。ある物質を、複合体全体に神秘で関連付けておくものは、その複合体の創造主なのである。ということは、一つのものが、何千もの言語で彼の方を証明しているのである。

見よ、宇宙の存在物の数ほどだけではなく、存在物のすべての形容及び複合の数ほど、可能性の点からも必然的に存在する方の存在の証明が現れている。

見よ、無知の者よ！宇宙を満たすこれらの証明を、これらの声を聴かないためには、どれだけ聾啞で愚かでなければならぬか、あなたが述べよ！

31番目の言葉

﴿لَقَدْ خَلَقْنَا الْإِنْسَانَ فِي أَحْسَنِ تَقْوِيمٍ ﴿١﴾ وَفِي الْأَرْضِ

آيَاتٍ لِّلْمُؤْمِنِينَ ﴿٢﴾ وَفِي أَنفُسِكُمْ أَفَلَا تُبْصِرُونَ ﴿٣﴾﴾

本当にわれは、人間を最も美しい姿に創った。
(コーラン95:4)

地上には信心深い者たちへの種々の印があり、またあなたがた自身の中にもある。それでもあなたがたは見ようとしぬのか。(コーラン51:20-21)

この窓は人間の窓であり、主観的である。主観の面においてこの窓の詳細は真理を見出した何千もの聖人の詳細な書物に求めるとして、クルアーンの知識から得たいいくつかの原則について述べるとする。つまり：

11番目の言葉で述べたように、人間は複数の意味を含んだ書物であり、アッラーは、そのすべての名を、人間の我欲によってまた人間に感じさせているのである。その詳細は他の言葉に求めて、三つの点を示す。

第一の点：人間は、三つの面でアッラーの名の鏡である。

一つ目の面：夜の暗闇が光を指し示すように、人間は弱さと無力さで、貧しさと窮乏で、欠点と短所で、ある偉大なる権力者の権力と 富裕と 慈恵を伝え、アッラーのその他たくさんの特徴の鏡となっている。また、その無限の無力と 無限の脆弱において無数の敵対心に対してある信頼の点を求めることで、その

良心はいつも存在の必然的な方を見ているのである。なおまた、その無限の貧しさと無限の窮乏の中で、無限の目的に対してある救済の点を探し求めなければならないがために、その良心はいつもその点からある慈悲深い富裕者の寺院に辿り着く。掌を天に向けて祈る。即ち、どの良心にもこの信願の点と救済の点という小さな二つの窓は、慈悲深い権力者の慈悲の城に開かれ、いつもそこから眺められる。

二つ目の面：人間に与えられた見本としての少量の学問や権力や視力や聴力や所有や支配は、宇宙の支配者の学問や権力や視力や聴力や神性の支配力の鏡であり、それを理解し、それを伝える。例えば、「私がこの家を作り、作り方を知り、それを見、それを所有し、運営しているように、この巨大な宇宙という宮殿にも職人がおり、その職人が知っており、見、作り、運営しているのである」。

三つ目の面：人間は、アッラーの名の鏡である。32番目の言葉の第3部のはじめに少し説明したが、人間の全体的な性質において模範の見える70以上の名があるのである。例えば、その創造から創造主や作者という名を、その美しい姿から慈悲深いや慈愛豊かなという名を、教育の美しさから偉大や華やかという名を、すべての器官や部分で、繊細さや精神で、欲望や感情で別々の名の別々の描画を指し示している。即ち、名の中でも偉大なる名があるように、その名の描画にも偉大なる描画があり、それは人間である。

おお、自らを知る人間よ！自らを読み！でなければ、動物または無機物のような人間になる可能性もある。

第二の点：唯一性の重要な神祕を指し示す。つまり：

人間の魂は身体全体に関連しているからこそ、すべての器官や細胞を互いに助け合わせている。つまり、アッラーの意志の現れである創造に関する諸々の命令からなり、その命令に基づ

いて外なる身体を装われ、命令による法則であり主の恩恵である魂は、それらの運営において、それらの精神的な声を感じ取るに当たって、その必要を充たすことで、互いの邪魔をしたり、魂を困惑させることはない。魂にとって遠いのも近いのも同様である。互いを遮ることはない。もしその精神が求めればその大半を（体の）一部分の援助へ向けることもできる。求めれば身体のすべての部分で知り、感じ、運営することができる。さらに、多くの光を得たのであれば、それぞれの部分で見聞きできる。

そのように、

﴿وَلِلَّهِ الْمَثَلُ الْأَعْلَى﴾

最高の象徴はアッラーに属する、アッラーの命令の法則である魂は、小さな世界である人間の身体と器官においてこの様子を呈するならば、むしろ、大いなる世界である宇宙において必然的に存在する方の全体的な意志と絶対的な権力に対して、無限の行動や無数の声や無数の祈りや無限の事業は決して重くなく、互いに邪魔することなく、彼の偉大なる方に迷惑をかけたり、困惑させることはないのである。彼はすべてを同時に見、すべての声を同時に聴く。近いのも遠いのも同様である。求めればすべてを一つを救うために送り込む。すべてですべてを見、その声を聴く。そして、すべてですべてを知る。

第三の点：生命にはとても重要な性質があり、重大な義務がある。しかし、この主題は生命の窓と20番目の手紙の8番目の言葉で詳しく述べたので、ここで次を述べるにとどめる：

生命において感情の形で湧き起こる複合的な模範はたくさん名と独自の事業を指し示し、明確に全能者なる方の独自の事業の鏡である。この神祕の説明は、アッラーを知らず、まだ十分に認めない者に対して時間がないので、門を閉じる。

32番目の言葉

﴿هُوَ الَّذِي أَرْسَلَ رَسُولَهُ بِالْهُدَىٰ وَدِينِ الْحَقِّ لِيُظْهِرَهُ عَلَىٰ

الدِّينِ كُلِّهِ وَكَفَىٰ بِاللَّهِ شَهِيدًا ﴿٣٢﴾ قُلْ يَا أَيُّهَا النَّاسُ إِنِّي

رَسُولُ اللَّهِ إِلَيْكُمْ جَمِيعًا الَّذِي لَهُ مُلْكُ السَّمَاوَاتِ وَالْأَرْضِ

لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ يُحْيِي وَيُمِيتُ ﴿٣٣﴾﴾

かれこそは、導きと真実な教えをもって、それを凡ての宗教の上に宣揚するため、かれの使徒を遣わされた方。本当にアッラーは立証者として万全であられる。(コーラン48:28)

言ってやるがいい。「人びとよ、わたしはアッラーの使徒として、あなたがた凡てに遣わされた者である。天と地の大権は、かれのものである。かれの外に神はなく、かれは生を授け死を与える御方である。だからアッラーと御言葉を信奉する、文字を知らない使徒を信頼しかれに従え。そうすればきっとあなたがたは導かれるであろう。」(コーラン7:158)

この窓は、書の大空の太陽であり、太陽たちの太陽たる聖ムハンマド(彼の上に平安あれ)の窓である。

この非常に輝く偉大な光の窓は、31番目の言葉である昇天(mirac)の便りと19番目の言葉であるムハンマド(彼の上に平安あれ)の預言者性において、そして、19の記号を持つ19番目の手紙において明瞭であると証明されているので

、その二つの言葉と一つの手紙とその19番目の記号を考え、この主題をそれらに求めるとして、ここではただ次のように述べる：

唯一性の有言の証拠であるムハンマド(彼の上に平安あれ)自身は、預言と代弁の面で、つまり自分の前のすべての預言者の言葉とその後のすべてのアッラーの友やイスラム学者の言葉を含むほどの力で、そして生涯をかけて全力で唯一性を指し示し、公表し、イスラム世界という広大で光り輝く窓をアッラーを知ることへ開いている。イマーム・ガザーリーやイマーム・ラッバーニーやムヒッディン・アラビーやアブドルカディリ・ゲイラーニーのような何百万もの真のイスラム学者や知者たちがその窓から見、他者にも見せているのである。

このような窓を閉じえる幕はあるのだろうか？彼を否定して、この窓から見ようとしないうものに理性はあるのだろうか。さあ、あなたが述べよ！

33番目の言葉

﴿الْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي أَنْزَلَ عَلَى عَبْدِهِ الْكِتَابَ وَلَمْ يَجْعَلْ

لَهُ عِوَجًا قِيمًا ﴿٣٣﴾ أَلَّا يَكُونَ الْكِتَابُ أَنْزَلْنَاهُ إِلَيْكَ مُتَمَدِّدًا

﴿النَّاسِ مِنَ الظَّالِمَاتِ إِلَى التَّوْرَةِ﴾

アッラーを讃える。かれはそのしもべに啓典を下された。それには、少しの曲ったことも含まれない。(コーラン18:1)

アリフ・ラーム・ラー。われはあなたに、あなたが主の御許しによって、人びとを暗黒から光明に、偉大な讃美すべき方の道に導き出すために啓典を下した。(コーラン14:1)

すべての過ぎ去った窓は、クルアーンの海のたった一滴だと考えてみよ、そうすれば、クルアーンにおいて、どれだけたくさんさんの唯一性の証明の種動があるか検査できるであろう。しかし、すべての窓の源泉であり、鋳脈であり、根原であるクルアーンを、非常に単純に眺めるだけでも、それが非常に光り輝く窓であると解かる。その窓は、どんなに絶対的で、輝く光であるかを25番目の言葉であるクルアーンが奇跡性を持っているという便りと19番目の手紙の18番目の記しで見ればよい。私は、クルアーンを私たちに送り込んだ偉大なる方の慈愛深い空に向かって申し述べる:

﴿رَبَّنَا لَا تُؤَاخِذْنَا إِنْ نَسِينَا أَوْ أَخْطَأْنَا

﴿رَبَّنَا لَا تَزِغْ قُلُوبَنَا بَعْدَ إِذْ هَدَيْتَنَا

﴿رَبَّنَا تَقَبَّلْ مِنَّا إِنَّكَ أَنْتَ السَّمِيعُ الْعَلِيمُ﴾

﴿وَتُبَّ عَلَيْنَا إِنَّكَ أَنْتَ التَّوَّابُ الرَّحِيمُ﴾

使徒は、主から下されたものを信じる、信者たちもまた同じである。(かれらは)皆、アッラーと天使たち、諸啓典と使徒たちを信じる。わたしたちは、使徒たちの誰にも差別をつけない(と言う)。また、かれらは(祈って)言う。「わたしたちは、(教えを)聞き、服従します。主よ、あなたの御赦しを願います。(わたしたちの)帰り所はあなたの御許であります。」(コーラン2:285)

(かれらは祈って言う。)
「主よ、わたしたちを導かれた後、わたしたちの心をそらさないで下さい。あなたの御許から、わたしたちに御慈悲を与えて下さい。本当にあなたこそ、限りなく与えられる御方であられます。」(コーラン3:8)

それからイブラーヒームとイスマーイールが、その家の礎を定めた時のこと。(その時二人は言った。)
「主よ、わたしたちから(この奉仕を)受け入れて下さい。本当にあなたは全聴にして全知であられる。(コーラン2:127)

主よ、わたしたち二人を、あなたに服従、帰依する者[ムスリム]にして下さい。またわたしたちの子孫をも、あなたに服従、帰依する民[ウン

マ]にして下さい。わたしたちに祭儀を示し、哀れ・を与えて下さい。あなたは度々許される方、慈悲深い方であられる。(コーラン2:128)

注意

この33の窓からなる33番目の手紙は、信仰を持たない者を信仰へと導くよう祈る。信仰の弱い者の信仰を強くするよう祈る。信仰が強力で横柄的な者の信仰を分析的にすることを祈る。信仰が分析的である者の信仰を拡大にするよう祈る。信仰の拡大な者にすべての完全な真実の源泉であり、根源であるアッラーを知ることに、進歩を与え、より光り、より輝く光景を開くよう祈る。だからこそ、「一つの窓で私は満足する、十分だ」と言ってはならない。理性に考えが浮かび、自らの分を分けてもらったのなら、心も自らの分を求め、魂も自らの分を求め、夢想も自らの分を求めよう。したがって、それぞれの窓に各々別々の役割があるのである。

昇天の便りにおいて、話し相手は信者でした。否定者は二次的に聞き手の位置にいた。本書では、話し相手は否定者であり、聞き手の立場にいるのは信者である。こう考えてみるべきである。

しかし、残念ながら、重要な理由があって、この手紙は非常に急速に書き下ろされ、まだ草案の状態であるので、むしろ、小生特有の表現形式において混乱や欠点があろう。親友たちには、寛容な視線でこれを眺め、可能であれば改善し、同情して小生のことを祈られるよう求む。

وَالسَّلَامُ عَلَيَّ مَنِ اتَّبَعَ الْهُدَى * وَالْمَلَأْمُ عَلَيَّ مَنِ اتَّبَعَ
الْهُوَى سُبْحَانَكَ لَا عِلْمَ لَنَا إِلَّا مَا عَلَّمْتَنَا إِنَّكَ أَنْتَ الْعَلِيمُ
الْحَكِيمُ اللَّهُمَّ صَلِّ وَسَلِّمْ عَلَيَّ مِنْ أَرْسَلْتَهُ رَحْمَةً
لِلْعَالَمِينَ وَعَلَى آلِهِ وَصَحْبِهِ وَسَلَّمَ آمِينَ

かれらは(答えて)申し上げた。「あなたの栄光を讃えます。あなたが、わたしたちに教えられたものの外には、何も知らないのです。本当にあなたは、全知にして英明であられます。(コーラン2:32)

